

令和4年度 三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟
要望活動 議事録

1 日 時 令和4年10月21日（金） 13:30～14:30

2 場 所 オンラインによる要望活動

3 要 望 者 三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟

会 長	横須賀市長	上地 克明
副会長	鎌倉市長	松尾 崇（代理 千田勝一郎 副市長）
副会長	逗子市長	桐ヶ谷 覚
副会長	三浦市長	吉田 英男（代理 星野拓吉 副市長）
副会長	葉山町長	山梨 崇仁

4 対 応 者

国土交通省 関東地方整備局横浜国道事務所長	鈴木 祥弘 様
神奈川県 県土整備局道路部長	西山 俊昭 様
神奈川県道路公社 理事長	田中 和久 様
東日本高速道路株式会社関東支社 建設事業部部長	加藤 健治 様

5 事 務 局

横須賀市 建設部長 角川 正彦

6 議 事

【横須賀市建設部長】

ただ今から、三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟の要望活動を始めさせていただきます。私は、本日司会進行を務めます、本期成同盟幹事長の横須賀市建設部長の角川でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度の本期成同盟の総会と要望活動は、当初、3年ぶりの対面開催を予定しておりましたが、7月に入り、新型コロナウイルス感染症の第7波が押し寄せ、感染者が増加したため、急きよ、総会は書面にて、要望活動は本日のオンラインにて、執り行うこととさせていただきました。

皆様におかれましては、ご多忙の中、日程の調整にご協力いただいたことを感謝申し上げます。

【横須賀市建設部長】

はじめに、本日ご参加いただいている皆様をご紹介します。

お名前をお呼びしますので、一礼させていただきますようお願いいたします。

まず、本期成同盟の役員です。会長の上地克明 横須賀市長です。

【横須賀市長】 よろしく願いいたします。

【横須賀市建設部長】 副会長の松尾崇 鎌倉市長の代理の千田勝一郎 副市長です。

【鎌倉市副市長】 よろしく願いいたします。

【横須賀市建設部長】 副会長の桐ヶ谷覚 逗子市長です。

【逗子市長】 よろしく願いいたします。

【横須賀市建設部長】 副会長の吉田英男 三浦市長の代理の星野拓吉 副市長です。

【三浦市副市長】 よろしく願いいたします。

【横須賀市建設部長】 副会長の山梨崇仁 葉山町長です。

【葉山町長】 よろしく願いいたします。

【横須賀市建設部長】 続いて、要望先の皆様です。

国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所所長、鈴木祥弘様です。

【国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所所長】 よろしく願いいたします。

【横須賀市建設部長】 神奈川県県土整備局道路部部長、西山俊昭様です。

【神奈川県県土整備局道路部部長】 よろしく願いいたします。

【横須賀市建設部長】 神奈川県道路公社理事長、田中和久様です。

【神奈川県道路公社理事長】 よろしく願いいたします。

【横須賀市建設部長】 東日本高速道路株式会社関東支社建設事業部部長、加藤健治様です。

【東日本高速道路株式会社関東支社建設事業部部長】 よろしく願いいたします。

【横須賀市建設部長】

それでは、要望活動に移ります。お手元の要望書をご覧になってください。本日は、まず本期成同盟から、要望先の皆様に要望させていただきます。その後、要望先の皆様から、関連する事項について、ご所見をいただきます。なお、時間が限られておりますので、要望書全文のご説明は割愛させていただきます、要望書見開き右側に記載しております、要望事項の7項目のうち、各市町がそれぞれの立場から補足説明させていただきます。

初めに、上地横須賀市長からお願いします。

【横須賀市長】

お疲れ様でございます。横須賀市長の上地です。今日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。横浜国道事務所、神奈川県、神奈川県道路公社、それから東日本高速道路株式会社の皆様におかれましては、日ごろから幹線道路整備の促進に絶大なるご協力をいただき、感謝申し上げます。また、本市の様々な取組みに対し、多大なるご支援をいただき、併せて感謝を申し上げます。

新型コロナウイルスの影響で、三広同の総会は、令和元年度の開催以降、2年続けて書面開催となり、今年こそは対面式の開催を予定しておりましたが、感染者数が急増したため、残念ながら書面開

催に変更しました。しかし、昨年度もオンラインによる要望活動にご列席いただいた皆様と、1年ぶりにお集まりできたことを大変うれしく思います。

さて、昨年7月の大雨により土砂災害が発生し、通行止めとなった横浜横須賀道路の逗子インターチェンジは、東日本高速道路株式会社の迅速な対応によって、同年9月には利用が再開され、現在は、通行車線を確保したまま本復旧の工事を進めていただいております。この出来事は、三浦半島にとって、いかに横浜横須賀道路が重要な道路であるかを痛感するとともに、幹線道路ネットワークが極めて重要であると再認識しました。

それでは、横須賀市からは、要望事項1から5について、述べさせていただきます。

要望事項1になります。高速横浜環状南線、横浜湘南道路は、県内東西方向の交通渋滞緩和や、三浦半島地域における企業立地の促進、新たな観光需要の創出など、確実に地域経済に好循環をもたらす道路であるとともに、防災減災の観点からも非常に重要な道路です。

さらに、昨年7月には、ご案内の通り、横須賀と北九州を結ぶフェリーの定期航路が開設され、首都圏と九州圏の大きな物流ルートが形成されました。また、今年9月、東京九州フェリーは、日本郵便と佐川急便と共同輸送を本格的に開始し、国土交通省から、物流総合効率化法の対象事業として認定され、輸送の効率化を図っております。このように横須賀港は、本格的な物流拠点となることが求められております。その横須賀港へのアクセス道路となる、両道路の開通は、物流や人流を、飛躍的に活性化されるものと大いに期待するものです。三浦半島地域の多くの人や事業者が待ち望んでおりますので、一刻も早い開通に向けて、進めていただくようお願いいたします。

要望事項2になります。三浦半島中央道路は、本市南北の幹線道路ネットワークを強化するだけでなく、西地区の唯一の幹線道路である国道134号の渋滞緩和、災害時の代替え道路として、どうしても必要な道路であります。西地区は、自然、景観、食など大きなポテンシャルを持っており、三浦半島中央道路は、その西地区の住民や三浦半島を訪れる皆様の利便性の向上に寄与するものと考えております。

すでに、かながわの道づくり計画に位置づけ、調査等を進めていただいておりますが、早期の整備をお願い申し上げます。

要望事項3になります。三浦縦貫道路の利用促進は、三浦半島の活性化、渋滞解消に必要不可欠であります。これまで、すかなごっそなど、三浦半島の様々な集客施設とタイアップし、道路の利用促進に向けたイベントを積極的に開催していただいております。来年4月にリニューアルするソレイユの丘とともに、三浦縦貫道路もますます活性化されることが期待されますので、引き続き、料金の引き下げについて検討をお願いいたします。

また、ワンストップ型ETCにつきましては、昨年、本町山中有料道路で社会実験を行っていただいたところ、決済処理時間が飛躍的に短縮したなど、利用者から好評であったと伺っております。コロナ禍においては、非接触が求められており、さらに、通行の利便性が向上するものですので、早期導入を改めてお願いいたします。

要望事項4になります。国道357号は、昨年3月に夏島交差点の左折レーンが設置され、昨年度に引き続き、地質調査を行っていただくなど、特段のご配慮をいただき、お礼申し上げます。

また、昨年度から、京急追浜駅前交通結節点整備が新規事業として予算化されました。併せてお礼申し上げます。国道357号の整備は、この京急追浜駅前交通結節点整備とともに、横須賀市の玄関口である追浜地区の、ひいては横須賀市全体の経済の活性化に欠かせない社会基盤となることから、引き続き、国道357号の都市計画決定区間の早期整備及び南下延伸区間の早期具体化に向けて、進めていただくようお願い申し上げます。横須賀市は今後も全力をあげて事業に協力してまいります。

要望事項5になります。横浜横須賀道路の横須賀パーキングエリア周辺におけるスマートインターチェンジ整備については、関係機関の皆様のご支援により、東日本高速道路株式会社と共同で事業推進させていただいております。早期の整備に向けて引き続き、ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

最後になりますが、今後とも、関係機関の皆様との連携を深め、より一層のご支援とご協力をいただき、三浦半島地域の広域幹線道路整備を進めていただきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

【横須賀市建設部長】

上地市長ありがとうございます。続きまして、千田鎌倉市副市長お願いいたします。

【鎌倉市副市長】

鎌倉市長代理の副市長の千田でございます。日頃より、大変お世話になっておりまして、特別なご配慮いただいておりますことに、この場をお借りしまして感謝申し上げます。松尾市長に代わりまして、鎌倉市の要望を代読させていただきたいと思っております。

鎌倉市としては、1番の高速横浜環状南線、横浜湘南道路の早期整備についてお願いを申し上げたいと思っております。観光施設が集積する鎌倉地域内におきましては、観光を目的とした来訪車両のほか、地域内に目的地を持たない通過交通による慢性的な交通渋滞が発生しております。国土交通省が平成30年に実施した交通調査によりますと、鎌倉地域に流入する車両の3割は通過交通との結果が示されています。新型コロナウイルスの影響により、新しい生活様式の定着化が進む中、市内の交通量は、新型コロナウイルス感染症の流行前に近い水準に戻りつつありまして、依然として交通渋滞が発生している状況でございます。

一方、地震被害や近年激甚化する異常気象による被害による、支援物資等の供給道路としての役割など、当該両路線が整備されることによる、ストック効果の発現が期待されるところでございます。

以上のことから、冒頭をお願い申し上げましたように、高速横浜環状南線、そして、横浜湘南道路の早期整備につきまして、ご尽力を賜りますようお願い申し上げまして、鎌倉市の要望とさせていただきたいと思っております。

私からは以上でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【横須賀市建設部長】

千田副市長、ありがとうございます。続きまして、桐ヶ谷逗子市長お願いいたします。

【逗子市長】

日頃より、大変お世話になっております、三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟、要望活動に、ご尽力ご協力いただき誠にありがとうございます。

逗子市からは、3点お願いすることになります。要望事項2の三浦半島中央道路の早期整備、3の逗葉新道の早期無料化、6の国道134号線の地下化についてでございます。

要望事項2の三浦半島中央道の整備につきましては、三浦半島地域における広域的な主要幹線道路網としてのネットワーク機能を強化するとともに、逗子市のまちづくりや経済活性化に大きく寄与すると考えております。

道路の大渋滞が慢性的に起こっておりまして、その渋滞の解消に繋がることが期待されておりますので、事業の推進をお願いしたいと思っております。過去におきましては、逗子市側がだいぶ物議を醸し、地元の理解を得られない時期がありました、しかし現在は、地元の自治会町内会や関係者からも、一定の理解が得られており、促進できるものと考えているところでございます。

昨年度、神奈川県に地質調査を実施していただいております。また、令和2年に東京都の調布市で発生しました、東京外郭環状道路のトンネル工事陥没事故があったため、不安に思われている方もいらっしゃると思いますので、逗子市としましても、これは神奈川県と葉山町と一体となって、この事業の必要性や、工事の安全性についてご理解いただけるよう努めてまいります。

また、地元自治会からは、県道横須賀逗子線の逗子警察署入口交差点、それと東逗子駅の入口になります交差点の交通渋滞が慢性化しており、指摘されております。

三浦半島中央道路の整備につきましては、交差点の改良工事も併せて行っていただくようお願いしたいと考えているところであります。

次に、要望事項3につきましては、他の市町の皆さんは、ワンストップ方式のETCの導入、料金の引き下げをご要望されておりますけれども、それは、承知した上でありますが、あえて逗葉新道の無料化を要望させていただきます。

逗葉新道の要望化につきまして、地元からの要望と併せまして、平成28年12月に逗子市議会さんから、神奈川県及び神奈川県道路公社に対しまして、逗葉新道通行料金の無料化を求める意見書が提出されております。意見書にあるとおり、逗葉新道が有料であることから、利用者の多くが逗子市内の一般道を迂回すると、これがまた市内の渋滞の原因の一つだと指摘を受けております。

市内の交通渋滞解消するためにも、三浦半島中央道路の整備と併せて逗葉新道の早期無料化をお願いいたします。

最後に、要望事項6の国道134号線の地下化の実現可能性の研究についてです。

こちらは平成21年度から、毎年要望してまいりました。今年度、逗子市総合計画の見直しの中では、実現には財源の確保など事業の実現性が極めて困難であるという判断から、本計画の見直しを考えているところであります。こうした考えもあるということをお伝えさせていただきます。関係機関の皆様、検討の協力、本当にありがとうございます。逗子市からは以上であります。

【横須賀市建設部長】

桐ヶ谷市長ありがとうございました。続きまして星野 三浦副市長お願いいたします。

【三浦市副市長】

三浦市長に代わりまして、述べさせていただきます。日頃より、三浦市の道路行政に多大なるご支援、ご協力を賜り、この場をお借りして感謝申し上げます。

三浦市からは、要望事項2と3につきまして、説明をさせていただきます。

要望事項2でございます。三浦縦貫道路Ⅱ期区間につきましては、林インターチェンジから高円坊までの北側区間が、令和2年8月10日に開通し、未整備区間は約2.5kmとなりました。都市計画道路西海岸線につきましては、小網代湾の自然に配慮するための環境調査や橋梁形式の検討など、これまでも、未整備区間の整備に向けて取り組んでいただいております。さらに、昨年には、知事が、早ければ令和5年度から用地測量に着手することを表明されました。

三浦縦貫道路と西海岸線は、2路線全線がつながることにより、首都圏各都市と本市との交通アクセスを飛躍的に向上させ、地域経済の活性化はもとより、地震等災害時における緊急輸送道路の確保の観点からも絶大な効果をもたらすことから、一日も早い2路線全体の完成・供用が望まれております。神奈川県の実業実施につきまして、三浦市としても連携に努めますので、今後とも引き続きご尽力をお願いいたします。

続きまして、要望事項3についてです。三浦縦貫道路の通行料金につきましては、供用延長約5kmに対しまして、普通車310円であり、県内の他の有料道路と比べて、割高感があります。つきましては、利用者の視点に立った料金体系の見直しが必要だと考えておりますので、ぜひ、検討をお願いいたします。

また、さらなる利便性の向上に向けて取り組まれております、ワンストップ型のETCにつきましても、早期実現をお願いいたします。

おわりに、広域幹線道路ネットワークの整備につきましては、長年にわたり、行政、議会、経済界が一致団結して、要望活動を続けさせていただいております。これまでも、関係各位の多大なるご支援、ご協力を賜っておりますが、より一層のお力添えをお願いいたします。以上でございます。

【横須賀市建設部長】

星野副市長ありがとうございました。続きまして、山梨葉山町長お願いいたします。

【葉山町長】

皆様こんにちは、お忙しいところ、こうして三浦半島の道路整備の要望活動に時間をいただき、ありがとうございます。

この行政の仕事に深く関われば関わるほど、災害時を念頭に、本当に人と人が繋がる道路の大切さを痛感するとともに、社会基盤としては一番便利なインフラだと感じています。葉山町からはそういう視点を持ちまして、三浦半島広域幹線道路整備促進期成同盟の要望書のうち、2番、3番、7番の

要望をしたいと思います。

まず2番の三浦半島中央道路の要望になります。平成16年3月に葉山町にあります南郷トンネルの三浦半島中央道路長柄地区間の開通に伴い、海岸線、134号線をはじめとしました海岸道路の渋滞、観光に来られる方々の渋滞などが大幅に緩和されました。このことにより、本当に道路が繋がることの大切さを葉山町民が痛感いたしました。

南側が繋がったものの、その北側の長柄地区から逗子市に抜けるところにあるイトーピア団地や葉桜団地では、抜け道として利用されることによる交通安全の問題や、また、慢性化している渋滞が多く発生しております。桐ヶ谷市長からご説明がありました通り、道路を繋げることで、住宅街からの通行、観光の方々の通行が円滑になることから、この中央道については早期の整備を要望します。

神奈川県が、本事業を着実に進めていただいていることは承知しておりますが、これからも地域と一緒にあって、いろいろな思いを持っている方や、北側区間の直上にお住まいの方々もいらっしゃると思いますので、しっかりと説明し、ご理解いただけるように努めてもらいたいと改めてお伝え申し上げます。

続きまして、3番の逗葉新道のワンストップ型ETCの導入でございます。ETCにつきましては、クレジットカードを使った利用率は9割を超えていると言われております。いち早く取り込まれたデジタル化ですが、三浦半島において、また、全県においても、道路公社の道路においては、未だに現金を徴収している区間もございます。ワンストップ型で結構ですので、まずはスムーズな簡易ETCの導入をお願いしたいと思います。

今回は簡易型ETCの導入を要望しておりますが、逗子市と同様に、無料化を望むことが大前提にありますので、それを踏まえた上で、今回の要望としておりますことを改めて申し上げたいと思います。

そして、7番になります、安全快適に利用できる道路の着実な整備、必要な財源確保と予算枠拡大についてです。

気候変動により、台風や集中豪雨など、様々に対応する機会が確実に増えております。

三浦半島は山に囲まれておりまして、去年の7月3日にネクスコ東日本の横浜横須賀道路の逗子インターチェンジ付近において、大規模な土砂災害がありました。本当に迅速な対応をしていただいたことで、我々が、大きな影響なく過ごしていることに心から感謝申し上げますが、これからますますそういった事が増えると思います。道路は安全に通行する歩行者のためでもあると意識して整備を行うこと、また、電柱等についても災害時に円滑な通行ができるように、無電柱化やその在り方について、引き続き検討を重ねていただきたいと思います。

葉山町としましては、町中に電柱が1本も無いと言いたいのですが、私たちの想いと、皆様のお力がしっかりと合わさることが、強固なまちづくりにつながっていくことを願ってやみません。連携して、三浦半島一つとなって、声を届けさせていただきますので、よろしくお願いいたします。以上です。

【横須賀市建設部長】

山梨町長ありがとうございました。以上が本期成同盟からの要望となります。

続きまして、要望について、ご所見をお願いいたします。初めに、国土交通省関東地方整備局、横

浜国道事務所長鈴木様お願いいたします。

【国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所長】

ただいまご紹介いただきました、国土交通省横浜国道事務所の鈴木です。

関係者の皆様方におかれましては、日頃から、国土交通省の道路行政に多大なるご支援、ご協力いただきまして、この場をお借りしてお礼申し上げます。また本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

それでは、私の方から要望事項についてお答えしていきたいと思っております。

まず、要望事項の1番についてです。皆様からも発言ございましたが、横浜環状南線・横浜湘南道路は、この地域に非常に重要な道路だと認識しております。ご存じの通り、神奈川県内の道路ネットワークの東西軸の強化になり、近年の災害の激甚化・頻発化する、災害対応のためにも、道路ネットワークの強化に寄与するところだと思っております。

現在の事業の進捗状況としましては、まず、横浜環状南線につきましては、栄ICJCTの橋梁工事、あるいは、道路改良工事を実施しています。横浜湘南道路につきましては、トンネル工事、橋梁工事、改良工事を実施しているところです。

今後とも、地域の皆様方に安全安心に工事を進めさせていただきまして、一日も早く、横浜環状南線、横浜湘南道路の開通に向け、事業を進めて参りたいと思っておりますので、引き続きよろしく申し上げます。

続いて、要望事項4番につきまして、お答えさせていただきます。

国道357号線の東京湾岸道路の八景島から夏島区間について、現在、夏島地区の改良工事、道路の設計等を実施しているところであり、引き続きまた地域の皆様、関係機関のご支援・ご協力をいただきながら、推進してまいりたいと思っております。

東京湾岸道路の南下延伸区間につきましても、周辺道路の整備状況、あるいは、交通状況等も踏まえながら、皆様方と一緒に検討を進めて参りたいと思っております。

また、昨年度から新規事業化となりました、追浜駅前の交通ターミナル整備事業は、現在調査設計を行っているところです。今年の夏には、横須賀市、京浜急行電鉄と基本協定を三者で締結させていただきましたので、今後、より一層連携して協力して検討していければと思っております。

続いて、要望事項5番につきまして、お答えさせていただきます。横須賀パーキングエリアスマートインターチェンジについては、引き続き、地区協議会等への参加を通じまして、技術的な側面で協力させていただければと思っております。

最後になりますが、引き続きまた、各市町の皆様、関係機関の皆様と連携を深め、より一層の事業推進に取り組んで参りたいと思っております。今後とも、ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【横須賀市建設部長】

鈴木様、ありがとうございます。続きまして、神奈川県県土整備局道路部長の西山様お願いいたします。

【神奈川県県土整備局道路部長】

ご紹介いただきました。神奈川県西山でございます。よろしくお願いします。

まず、各首長、副市長におかれましては、日頃から県の道路行政に多大なるご協力いただきまして、感謝申し上げます。この場をお借りしてお礼申し上げます。

また、本日は、大変ご熱心にご要望いただきまして、ありがとうございます。

私からは、県管理道路に関わるご要望事項につきまして、順次、ご回答させていただきます。

まず、横須賀市長、逗子市長と葉山町長からお話いただきました、三浦半島中央道路についてでございます。三浦半島中央道路は北側区間と南側区間がございます。このうち北側区間の約1kmのトンネル区間では、先ほど逗子市長からお話がありましており、かねてから、事業に対する反対が根強い地域でございました。そうしたことから、調査に入れない状況がありましたが、昨年7月、葉山町のご協力をいただきまして、オープンハウス形式の相談会を開催することができました。そこでは、住民の方々のご意向を改めて確認することができました。住民の方々からは、事業に賛成する声上がる一方で、地盤沈下や騒音振動といった生活環境の悪化を懸念する声が寄せられたことから、こうした懸念に対応するため、昨年度は現地にて地質調査を行い、今年度はトンネルの設計を進め、騒音や振動などの予測評価するための調査を行う予定でございます。

また、逗子市長からお話いただきました、逗子警察署入口交差点などの改良に向けた検討や警察等との協議を進め、これらの調査・検討の結果を地域の方々に丁寧に説明して、事業に対するご理解をいただけるよう精力的に取り組んでまいりますので、引き続き市町におかれましてはご協力をよろしくお願い申し上げます。

南側区間、こちら湘南国際村から山科台に向かっているところでございます。こちらにつきましては、みちづくり計画の整備推進箇所位置付けておりまして、必要な調査を進めているところでございます。まずは、北側区間に傾注しているところであり、ご理解をいただければと存じます。

次に三浦市副市長からお話をいただきました、三浦縦貫道路Ⅱ期区間の整備についてです。先ほどお話をいただきましたが、先行して整備を進めてきた北側の1.9km区間は、おかげさまで、今年3月、国道134号の三浦縦貫道路林入口交差点から、三浦市方面に向かうためのオンランプの開通をもって、全部の整備が完了いたしました。これによって、横浜横須賀道路衣笠インターチェンジと三浦方面への移動時間が短縮され、国道134号の渋滞も一部緩和が図られつつあると認識しているところでございます。

三浦縦貫道路北側区間に続く南側区間につきましては、昨年度、早期整備に資するよう、縦断線形の精査を行って、橋梁区間を短くするなどの検討を行ったところでございます。今年度は、精査した線形をベースとして、三浦市とともに、事務レベルで市道の付け替え、あるいは、交差方法の調整を行っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

次に都市計画道路西海岸線についてです。

先ほどもお話ありましたが、豊かな自然が残る小網代湾を大規模な橋梁で跨ぐことなどから、環境に配慮し、景観に調和する計画とすることが必要でございまして、さらには、地域の方々にしっかりとご理解を得ていく必要がございます。

そこで、これまで大気や生物等の周辺の環境調査を行うとともに、専門家の意見を伺いながら、橋梁の比較設計などの検討を進めていたところです。

今年度は、交差道路などの調整を進めるとともに、三浦市のご協力をいただきながら、漁協関係者の皆様等に対して、検討してきた計画を示し、ご意見を伺いながら詳細な設計を進めていきます。来年度は、用地取得に向けた測量に着手する予定としているなど、精力的に事業を進めて参りますので、引き続き、地元調整などのご協力をよろしくお願い申し上げます。

次に逗子市長からお話いただきました、国道134号の地下化でございます。

市長からも、なかなか難しいとお話をいただきました。確かに、道路全体を地下化するというのは技術的にも難しく、また、海っぺりということもございまして津波防災の観点や沿道利用、あるいは、多大な事業費を要する経済性など様々な課題がございまして、なかなか難しいところがございますが、市からこういったやり方がいいのではないかとご提案いただければ、県としても、何ができるか一緒になって検討していきたいと思っておりますので、ぜひ、情報交換等を行っていただければと思っております。

次に葉山町長から、安全快適に利用できる道路の着実な整備に必要な財源確保と予算枠拡大ということでお話をいただきました。

やはり、安全安心そして地域の活性化のためには、まだまだ道路の整備は必要でございますので、道路の整備効果や必要性をしっかりとアピールし、引き続き道路予算の確保、予算枠の拡大について、国等に強く働きかけていきたいと考えております。こうした中で、道路の整備や予算の確保を求める全国大会には、これまでも各首長にご参加いただいております。強力に後押しいただいているところでございます。本当にありがとうございます。

来月11月9日、東京の砂防会館で開催される全国大会には、横須賀市長、鎌倉市長、三浦市長、葉山町長にご参加いただける予定と伺っております。本当に感謝申し上げます。

こうして首長が、顔を出して働きかけていただくということは、大変な力になると考えておりますので、引き続き、市町、首長と連携して、各方面に、道路の予算確保を強く働きかけていきたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

また、葉山町長から無電柱化のお話をいただきました。道路の無電柱化は、防災、円滑な交通確保、景観形成等、重要な事業でございます。一方、電線類を埋設するための幅の広い歩道が必要となることから、なかなか葉山町域の県管理道路での事業の実施が難しいところがございます。

こうした中、今年4月には、葉山町と勉強会を設けさせていただいて、歩道の実態を踏まえた中で、現実的にどのような事ができるのか、といった検討を開始したところです。これまでに4月と8月の2回、勉強会を開催して、町が、無電柱化を希望される国道134号、歩道が狭い中ではありますが、ここを無電柱化するためには、埋設する共同溝をもっと小型化する必要があるんじゃないかといったところを情報交換するとともに、歩道が連続してない箇所はどうすべきか、ここでは共同溝を車道の下に埋設することが可能かを検討していこうと、確認させていただいたところです。

引き続き、葉山町とともに勉強会を継続し、狭い歩道の中でも無電柱化の実現方策について検討を深めてまいりたいと考えておりますので、ぜひご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、私どもにも至らない点が多々あると思います。一方で、こうした地元の皆さんと一緒に、様々な課題を解決し、三浦半島地域の活性化のため、道路の整備の推進をしっかりと行って参りたいと思っておりますので、引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

【横須賀市建設部長】

西山様、ありがとうございました。続きまして、神奈川県道路公社理事長田中様お願いいたします。

【神奈川県道路公社理事長】

道路公社理事長田中でございます。

日頃から、道路公社の事業にご支援いただきまして、ありがとうございます。

神奈川県道路公社に関する要望事項につきまして、お答えいたします。

まず、ワンストップ型ETCの早期導入についてです。これまで、機器の作動等の確認に向け、旧本町山中有料道路におきまして、料金所の上下線1レーンずつを使って社会実験を2回実施し、通過時間も平均約1秒となり、機器が安全に作動することを確認しました。

今後、料金所で通常利用する全てのレーンを同時に稼働させても、混乱することがないか、それを検証するために、今年度は三浦縦貫道路におきまして、改めて社会実験を実施する予定です。

また、利用可能なETCカードを増やす必要があることから、神奈川県と協力しまして、クレジット会社にさらに参画して参ります。こうした取り組みを引き続き精力的に進め、早期導入を、目指してまいります。

続きまして、料金体系の見直し、引き下げについてですが、三浦縦貫道路は、料金収入で、建設費用等の返済及び維持管理に要する費用を賄うこととし、国の許可を得ていますが、三浦縦貫道路Ⅱ期の北側区間が開通し、交通量は増加したものの計画交通量には達しておらず、収入面では厳しい状況が続いております。

一方、逗葉新道は、道路公社が自己資金により建設し、国から経営の免許を受けて供用している、一般自動車道でありまして、無料解放を前提としたものでなく、道路公社の経営に資する道路でございます。

こうした中、ご要望の料金体系の見直し等につきましては、国の許可等を要する事項ではありますが、これまでの収入状況、さらにこれに加えて、新型コロナウイルスの影響により収入減となっている現在の経営環境の中では、厳しい状況でございます。

なお、無料化の話がございましたけれども、三浦半島中央道路の北側区間の開通時期を目途に、神奈川県では公社や地元と調整したい意向があると伺っております。つきましては、様々な観点から検討し、県と調整させていただきたいと思っております。

公社としましては、今年度から徐々に再開しつつあります、地域と連携した利用促進への取り組みをさらに進めまして、今後とも経営改善を図って参りますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

私からは以上でございます。

【横須賀市建設部長】

田中様ありがとうございました。続きまして、東日本高速道路株式会社関東支社建設事業部長加藤様お願いいたします。

【東日本高速道路株式会社関東支社建設事業部部長】

ただいまご紹介いただきました、東日本高速道路株式会社関東支社の加藤でございます。

皆様方におかれましては、平素より、弊社・高速道路事業における新設・改築事業及びリニューアル事業に格別のご支援ご協力を賜っていること、誠に厚くお礼申し上げます。

ただいま御要望承りました、弊社に関連する1点目の高速横浜環状南線及び横浜湘南道路、5点目の横須賀パーキングエリアスマートインターチェンジにつきまして、申し上げます。

圏央道の横浜環状南線及び横浜湘南道路につきましては、国土交通省と共同で事業を進めているところでございます。現在、全線にわたり工事を進めているところではありますが、8月4日に開催された神奈川県圏央道連絡調整会議で報告させていただいた通り、施工条件に合わせたシールドトンネルの掘進速度の調整や、周辺的生活環境に配慮した施工など、安全かつ慎重な施工が必要になっており、今現在、全体の事業工程を正確に把握することはなかなか難しい状況となっております。

とはいえ、新たな開通目標につきましては、トンネルの掘進状況などから、改めて公表させていただきますが、弊社といたしましても、事業の着実な推進は安全第一で進めていきたいと思っており、今後も最大限の努力をしまいたい所存でございます。

もう一つは、横須賀パーキングエリアのスマートインターチェンジです。これにつきましても、引き続き、早期整備に向けて、関係機関の皆様と一体となって事業を推進してまいります。

最後になりますが、いずれにしましても、事業を円滑に進めるためには、各自治体の皆様方のご支援をいただかなくはなりません。皆様方には、弊社事業につきまして、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、この場をお借りしてお願い申し上げます。

【横須賀市建設部長】

加藤様ありがとうございました。要望先の皆様ありがとうございました。以上で首長からの要望及び要望先の皆様からの所見を終了します。

続きまして、質疑応答に入らせていただきます。ご意見、ご質問がある方は、挙手をお願いします。

【横須賀市長】

今日は、ありがとうございます。

横浜国道事務所様、ネクスコ様に伺います。今お話にあった通り、高速横浜環状南線、横浜湘南道路についてきましては、開通時期を見直すとのことで残念ではございますが、工事を安全に進める必要があることは理解しております。一日も早い開通のために、引き続き工事の推進に協力させていた

だきます。

そこで一つ、質問がございます。2路線で別々に工事を進めておりますが、整備が完了した路線から供用を開始するという認識でよろしいでしょうか。

【東日本高速道路株式会社関東支社建設事業部部長】

先ほども少し触れましたけども、シールドマシンの故障等がございます、施工条件に合わせたシールドトンネルの掘削速度の調整や、周辺的生活環境に配慮した施工など、安全かつ慎重な施工をしながら、開通時期を改めて検討しているところでございます。

弊社としまして、一日も早い開通を目指し、最大限の努力をしております。

【国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所長】

横浜国道事務所の鈴木です。

ありがとうございました。ネクスコさんもおっしゃっているとおり、横浜環状南線と横浜湘南道路については、シールドトンネル工事におきまして、様々な技術的課題があり、開通時期の見直しを行っております。

その中でも、完成している路線から供用させることも含め、一日も早く、開通できるように、事業者として、しっかり安全安心に施工を進め、完成した部分から、順次供用させることを考えておりますので、また、ご支援ご協力賜ればと思っております。

以上でございます。よろしく申し上げます。

【葉山町長】

道路公社の田中理事長に確認させていただきたいと思っております。昨年度の三広同の要望におきまして、ワンストップ型ETCについていただいたご回答がクレジット会社との調整が必要だとありました。業者数が11社もあるとのことですが、昨年からお伝えいただいた中でクレジット会社との調整にどのような進捗があるのか、いつ頃になりそうかということをお聞かせください。

【神奈川県道路公社理事長】

昨年の実験では、4社が参加しております。

ただ今調整中ではありますが、クレジット会社が全部で11社あり、それ以外にも小さなカード会社もあります。この小さいカード会社の取扱いをどうするかが大きな課題となっております。調整を進めていることは確かなんですが、全てのカード会社をカバーするのは、結構厳しい状況であることが現実です。

それにしまして、開発事業者と神奈川県とでカード会社に当たっておりますので、なるべく皆様がすべてのカードで通れるようにしたいと思っておりますが、現時点では、そうはなっていない。来年の実験を行います、その時は、一部のカードしか使えない状況となると思っております。

【横須賀市建設部長】

本日は、本期成同盟の要望活動にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。

今後も、三浦半島地域の広域幹線道路の整備促進につきまして、さらなるご支援をくださりますようお願い申し上げます。

以上をもちまして、要望活動を終了いたします。どうもありがとうございました。